

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2020年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	社会福祉援助技術論		
担当者(Instructors)	藤沢 真理子	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)
社会福祉援助技術（ソーシャルワーク）の理論と方法を学ぶ。今後幅広い分野で学生が活動する時に役立つよう、具体的な事例を通して考える。

■ 授業形態・授業の方法(Class form)	
授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	授業の内容に応じて、ディスカッションおよびグループワークを取り入れる

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)			
回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	社会福祉援助技術（ソーシャルワーク）とは	今後の講義の概要・予定と授業でのルールを把握する	☐
第2回	ソーシャルワークの歴史的展開	ソーシャルワークの歴史を理解する	☐
第3回	ソーシャルワークの体系	ソーシャルワークの基本要素と体系について理解する	☐
第4回	ソーシャルワークの展開過程	ソーシャルワークのプロセスについて学ぶ	☐
第5回	ケースワーク（個別援助技術）	ケースワーク（個別援助技術）について理解する	☐
第6回	ケースワークの事例	ケースワークの事例を通して、実際の援助方法を学ぶ	☐
第7回	バリアフリー	バリアフリーについて理解する	☐
第8回	グループワーク（集団援助技術）	グループワーク（集団援助技術）について理解する	☐
第9回	グループワークの事例	グループワークの事例を通して、実際の援助方法を学ぶ	☐
第10回	コミュニティワーク（地域援助技術）	コミュニティワーク（地域援助技術）について理解する	☐
第11回	社会福祉調査法	社会福祉調査の方法を学ぶ	☐
第12回	社会福祉計画法	社会福祉計画法について理解する	☐
第13回	ケアマネジメント	ケアマネジメントの方法を学ぶ	☐
第14回	社会福祉援助技術のまとめ	社会福祉援助技術の知識をまとめる	☐
第15回	社会福祉援助技術の課題	社会福祉援助技術の課題を理解する	☐

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)
事前学習として、テキストから次回の講義内容に関連する箇所を指定し、当日までに2時間程度の学習（読んで要約）を課す。事後学習として、講義の復習をすると共に課題レポートを2時間程度でまとめることを課す。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)
課題レポートは、まとめて翌週フィードバックし、全体で共有する機会をもつ。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)		
区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
思考力・判断力・表現力	◆ 2019人間健康DP2	社会福祉分野における問題意識を持ち解決方策を探索できる

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			84%	16%
授業内試験等(具体的内容)(Specific contents) 授業内試験				

■テキスト(Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	よくわかる社会福祉 第11版	978-4-623-07676-5
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	適宜授業で紹介	
2		
3		
4		
5		